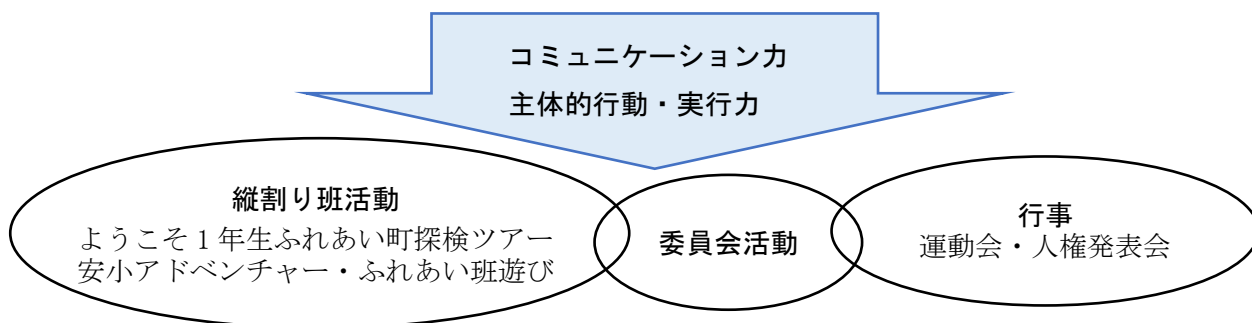


1 研究主題

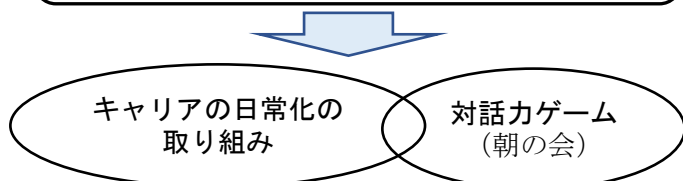
社会的に自立し、自分の役割を果たしながら豊かに生きていく子をめざして

2 研究の具体 (PDCAサイクルで実施)

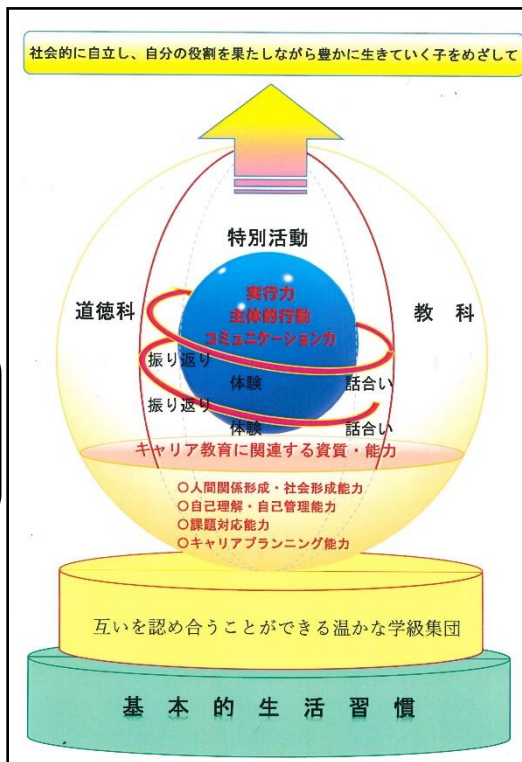
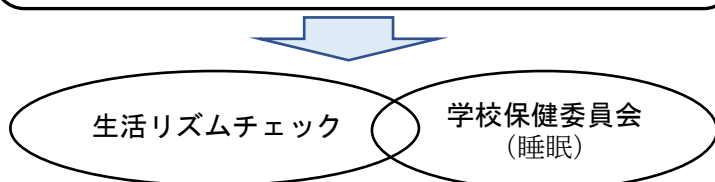
仮説1 特別活動を核として教師が意図的に課題を仕掛ける。  
→児童が主体的に活動し自分の役割について考える機会が増える。



仮説2 自分の考えを伝え合う態度を育てる。  
→認め合える学級作りができる。



仮説3 生活リズムについての知識・理解を深める。  
家庭と連携し実践する。  
→自立の基盤としての生活リズムの定着が図れる。



3 研究の検証及び改善の手立て

- 研究した成果の参考とする10の指標(5月)では、  
「将来の夢や目標をもっているか。」(5年のみ) 69.6% → 目標値 80.0%  
「係活動や委員会活動では、目的をもって計画・活動しようとしているか。」(全校生) 85.0%  
→ 目標値 90.0%

PDCAサイクルで実施し、11月末の調査で達成状況を検証する。

- 活動の振り返り(キャリアパスポート等)により、自己理解と実践意欲の継続を図る。
- QUアンケート(5月・11月)実施。児童の学級満足度を把握し、認め合える学級集団作りの検証をする。
- 生活リズム表・教育相談アンケート(毎学期)実施。基本的な生活習慣の定着度をみる。